

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>				担当者 若林 久人 経費区分 ー 内線 3115
事務事業名	11942 行政評価推進事業				
所 属	050100 総務部・総務課				
施 策	17024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり				
予算 科目	会計	01 一般会計			
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費			
	事業	980000 行政評価推進事業			
事業目的			事業概要・効果		
総合計画の進行管理 総合計画に掲げた事業の目的、目標、実績を確認し、「何の目的で、何を目標にして、お金をいくら使って、何をするのか」、「成果はどの程度で、改善すべき点はどこなのか」などについて評価分析を行う			「行政評価」は、担当課による「事務事業評価」と、市民による「外部評価」により評価し、市民福祉の一層の向上、職員の意識改革、政策形成能力の向上及び行政の説明責任の明確化を図る。 財務会計システムに行政評価の機能を平成25年度より追加し、「実施計画」「予算」「決算」「評価」を連動させることにより、行政運営のPDCAサイクルを機能させる。また、その事務作業に係る職員の負担軽減を図ることが可能となった。		

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
「実施計画」「予算」「決算」と連動した行政評価を実施 行政評価を活用した事務事業の見直し実施	令和3年度より行政改革推進事業へ統合
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	※行政評価自体が指標による事業の進捗管理を行っており、行政評価制度そのものは指標設定にそぐわない					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		1,017	0
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,017	0
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.0
	嘱託職員	0.2	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,090.4	0.0
	嘱託職員	629.8	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,720.2	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		3,737.2	0.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,017	行政評価システム使用料1017

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	目標達成、財源の有効活用、効率的効果的な事業推進のためにも、事業の実績と計画を可視化し、評価することは必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	評価シートを作成することが目的化され、事業の評価、検証への活用、施策評価への連動が弱い。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	有効性を高めつつ、職員負担をかけずに行う方法を試行錯誤していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

総合計画の施策評価や課題管理との連携・統合等を政策推進課と協議。
すべての事務事業と課題は総合計画の施策と繋がっていく形で制度設計し、評価に伴う職員の負担を軽減しつつ、有効性を高める取り組みを2021年度評価より試行導入予定。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
行政評価シートを通じて、職員が事務事業の有効性を確認し 効率を高めるための改善に繋げるよう、引き続き意識改革が必要である。評価に伴う職員の負担を軽減しつつ、有効性を高める取り組みを2021年度評価より試行導入予定。		総合計画の施策評価や課題管理との連携・統合等と協議。評価に伴う職員の負担を軽減しつつ、有効性を高める取り組みを2021年度評価より試行導入予定。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	